



Vol. 22  
2008年10月21日(火)  
LVS・フクロ

## U-18が高田高杯第19回全日本ユース(U-18)初優勝

未来の浦和レッズを担う下部組織、浦和レッズユースが13日、高校生年代の日本一を決める「高田高杯第19回全日本ユース(U-18)選手権大会」の決勝戦で名古屋グランパスU18を9-1で破り、初優勝を飾った。選手た

ちは、埼玉スタジアムに詰めかけた1万5382人の大半を占めるレッズサポーターとともに喜びを分かち合った。

ゴールラッシュの口火を切ったのは攻撃的MFの山田直輝。開始4分にエリア外からのスーパーム

ドルで先制すると、16分には相手DFのオウンゴールを誘って2-0とした。さらに23分には原口元気のミドル1点を返された後の43分には田仲智紀の直接FK、そして44分には阪野豊史がゴールネットを揺らし、前半で5-1として試合を決めた。

後半は51分と70分に高橋峻希がゴール。その後FWに上がった山田にボールを集め、76分とロスタイクに2点を追加し、9-1とした。得点も得失点

差も大会記録。また決勝戦史上初のシュートリックを達成した山田は、得点王に輝いた。

▶菅井順平主将「うれしい。選手一人ひとりが、勝つためには何が必要かを話し合ってきた」

▶高橋峻希「自分たちの方が名古屋よりも苦しい戦いをしてきたというのも、大量点につながっていると思う」

▶山田直輝「決勝ではこれまでやってきたサッカーを前面に出せた。みんな走ってよく戦えた。得点王は僕がたまたま決めただけ。そこまでは他の人たちが作ってくれたので、感謝をしたが」

▶原口元気「一緒にやってきた仲間と埼玉で優勝できて、何も言うことはない。去年、準決勝で負けた悔しさで、練習を頑張ってきた」



(上)「高田高杯全日本ユース(U-18)選手権」を制するのはレッズユースの悲願だった。優勝を決めた選手は誰もが笑顔。(左)山田直輝は38得点で得点王に輝いた



▶山田直輝が得点王